

練馬区この1年

平成30年4月～平成31年3月



世界都市農業サミット プレイベント (パネルディスカッションの様子)

30年4月

1日 高齢者在宅生活あんしん事業を開始

緊急通報システムなどによる見守り事業や配食サービス、緊急時の自宅への駆けつけサービスを一体的に提供する「高齢者在宅生活あんしん事業」を開始した。

1日 ひとり暮らし高齢者等への訪問支援事業を区内全域で開始 写真①

区内 25 か所の地域包括支援センターに社会福祉士等の資格を持つ訪問支援員を配置し、支援員がひとり暮らし高齢者等の自宅を訪問して必要な支援を行う事業を区内全域で開始した。

1日 フェイスブックページ「多文化ねりま～文化交流ひろばから」を開設 写真②

区内イベントや外国人区民が生活していくうえで必要な情報などを 4 か国語（英語、中国語、韓国語、日本語）で発信するフェイスブックページを開設した。

1日 美術館に新館長 秋元雄史氏が就任

練馬区立美術館の新館長に秋元雄史氏（東京藝術大学大学美術館館長・教授）が就任した。

3日 練馬区の人口が 73 万人を突破

住民基本台帳に登録された人口が 730,377 人となり、初めて 73 万人を突破した。

15日 練馬区長選挙・練馬区議会議員補欠選挙

任期満了に伴う区長選挙、欠員 5 人となっていた区議会議員の補欠選挙を行った。



↑ ① 区民ボランティアによる訪問の様子



↑ ② 生活情報を 4 か国語で発信するフェイスブックページ（トップ画面）

17日 前川耀男第 19 代練馬区長が初登庁 写真③

15日の練馬区長選挙で再選。任期は、平成 30 年 4 月 20 日から 4 年間。

5月

9日 前川区長が北京市海淀区を訪問

5月9日から 11 日まで、練馬区の友好都市である中国北京市の海淀区を、区議会議長をはじめとした訪問団とともに、区長として初めて訪れた。海淀区とは、両区の市民レベルでの交流を深めることで合意をした。

21日 新しい「ねりコレ」を発表 写真④

ねりま観光センターは、新しい「ねりコレ」（ねりまのオススメ商品コレクション）を発表した。

今回、食料品やグッズなどのお土産品部門が 58 商品、飲食店の看板メニュー部門が 19 商品の計 77 商品が認定された。

31日 コンビニ事業者等と「高齢者見守りネットワーク事業協定」を締結

従業員が支援の必要な認知症高齢者等を発見した際に、地域包括支援センターへ連絡するなど、ひとり暮らし高齢者などを地域で見守ることを目的に、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)ファミリーマートおよび(株)イトーヨーカ堂の 3 社と協定を締結した。

31日 (株)イトーヨーカ堂と「災害時における応急物資の供給に関する協定」を締結

災害時に区の要請により、提供可能な食料品等の物資を供給することなどを目的とする協定を締結した。



↑ ③ 前川耀男第 19 代練馬区長が初登庁



↑ ④ 新しい「ねりコレ」（ねりまのオススメ商品コレクション）

6月

- 1日 寄付金のインターネットによる申込み、クレジットカード決済を開始
寄付者の利便性の向上を図ることを目的に、インターネット申込みおよびクレジットカード決済を開始した。
- 1日 災害時協力登録車制度を創設、登録受付開始
区民や事業者が所有する電気自動車（EV）等を災害時に避難拠点の電源として活用する制度を創設し、区民等からの登録受付を開始した。区民のEV等を募る制度としては、都内自治体で初めての取組。
- 1日 禁煙医療費補助事業を開始
20歳以上の区民を対象に、禁煙にかかる医療費自己負担分の1/2（上限1万円）を補助する事業を開始した。
- 22日 日本大学芸術学部および区内事業者と「臨時災害放送局の開設および運営に関する協定」を締結 **写真⑤**
大規模災害が発生した際に、区が開設する臨時災害放送局を継続かつ安定的に運営するための基本的役割を分担するとともに相互に協力連携を図るため、日本大学芸術学部、(株)ジェイコム東京および(一社)練馬放送の3団体と協定を締結した。



↑⑤ 「臨時災害放送局の開設および運営に関する協定」締結式

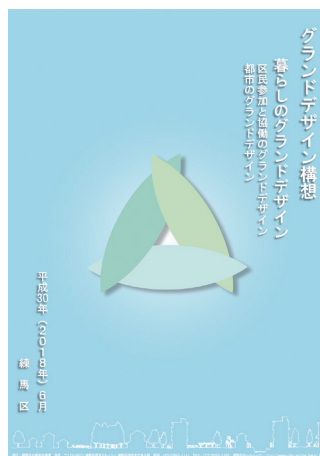
- 27日 第70代議長に福沢剛氏、第72代副議長に西野こういち氏が就任

本会議で、新議長に福沢剛氏（自民党）、新副議長に西野こういち氏（公明党）が選出された。

- 28日 「グランドデザイン構想」を策定 **写真⑥**
目指す将来像を区民と共有し、区政を更に前に進めるため、おおむね10年後から30年後の将来像を「暮らし」「都市」「区民参加と協働」の3つの分野で示した「グランドデザイン構想」を策定した。

7月

- 10日 区内3警察署と「要保護児童の早期発見と児童虐待の未然防止に向けた情報共有等に関する協定」を締結
要保護児童に係る情報を共有し、情報の記録および管理と秘密の保持の徹底により、更なる連携強化を図るため、区内3警察署と協定を締結した。
- 11日 マイナンバーを活用した保育の現況届のオンライン受付を開始 **写真⑦**
子育て世代の利便性向上を目的に、政府が運営するウェブサイト「マイナポータル」のぴったりサービスを活用して、保育の「現況届」などのオンライン受付を開始した。
- 12日 地域団体や介護事業者8団体と「街かどケアカフェ連携協定」を締結
身近な場所で、健康づくりや介護予防に取り組める環境を整備し、孤立や閉じこもりを防ぐことを目的に、高齢者の集いの場や認知症カフェなどを運営している地域団体や介護事業者8団体と協定を締結した。



↑⑥ 「グランドデザイン構想」冊子

↓⑦ マイナポータル（トップ画面）



8月

1日 真夏の音楽会、花火フェスタを開催 写真⑧

練馬区独立記念日を祝うイベント「真夏の音楽会 vol.1 大谷康子と楽しむ音楽の旅～ウィーン」と「練馬区花火フェスタ」を開催した。

どちらも29年度に練馬区独立70周年記念事業として開催し、好評を博したため、引き続きの開催となった。

2日 夏休み親子パラリンピック競技体験会開催

写真⑨

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開幕2年前に合わせて、夏休みに親子でパラリンピック競技などを体験するイベントを開催した。

9月

1日 区公式ホームページを8年振りに全面リニューアル

平成22年以来、8年振りに、区公式ホームページ（スマートフォン・モバイルサイト含む）を全面リニューアルした。利便性の向上、情報発信力の強化等を図る。



↑ ⑧ 真夏の音楽会の様子



↑ ⑩ 小学生の放課後の居場所説明会の様子



↑ ⑨ 夏休み親子パラリンピック競技体験会 車いすポートボール体験の様子

6日 日産関係3社と「災害時における電気自動車からの電力供給の協力に関する協定」を締結
災害時に、区内店舗が試乗車として配備している電気自動車（EV）を区に無償で貸与するほか、店舗に設置している充電スタンドの優先利用を可能とすることを目的に、東京日産自動車販売（株）、日産プリンス東京販売（株）および日産自動車（株）の3社と協定を締結した。

10月

6日 小学生の放課後の居場所説明会を開催 写真⑩

児童館や学童クラブで、来年度に小学1年生となる保育園児の保護者などを対象に、放課後の過ごし方について、「小学生放課後の居場所説明会」を初めて開催した。説明会は、20会場で22回開催し、247名が参加した。

14日 みどりの風 練馬薪能を開催 写真⑪

石神井松の風文化公園で「みどりの風 練馬薪能」を開催した。

16日 ハンドスタンプで、東京2020大会を応援

写真⑫

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げるため、都内の自治体として初めて、「ハンドスタンプアートプロジェクト」の支援を開始した。

※ハンドスタンプアートプロジェクト：

病気や障害がある子どもたちと、それを応援する人たちの手形を集めてアートを制作するプロジェクト。（一社）HAND STAMP ART PROJECTが取り組むプロジェクトで、区は、この活動を後援しています。



↑ ⑪ みどりの風 練馬薪能「土蜘蛛 ささ蟹」



↑ ⑫ 前川耀男区長が練馬区民第一号として、ハンドスタンプをする様子

25日 コンビニエンスストア移動販売車を活用した高齢者支援サービスを開始 **写真⑬**

(株)セブン・イレブン・ジャパンが、UR賃貸住宅光が丘パークタウン大通り南団地で都内初となる移動販売を開始、3月には、都営光が丘第3アパートへも展開した。区は、UR、東京都、地元自治会等と連携して、高齢者支援の取組として、販売場所や広報などの支援を開始した。また、販売日時に合わせた「出張型街かどケアカフェ」を実施し、買い物に訪れた高齢者が気軽に立ち寄れる新たな場所を提供している。

29日 「訪れてみたい日本のアニメ聖地 88(2019年版)」に、練馬区が選出

一般社団法人アニメツーリズム協会が主催する「訪れてみたい日本のアニメ聖地 88(2019年版)」に、練馬区が選ばれた。

11月

1日 区内初の障害児保育園「ヘレン中村橋」が中村橋区民センター1階に開園 **写真⑭**

保育スタッフと看護スタッフ、リハビリスタッフが協力し、重度の障害や医療的ケアが必要な子どもの療育と保育を行う「ヘレン中村橋」が開園した。



↑ ⑬ 光が丘での移動販売の様子



↑ ⑭ 区内初の障害児保育園「ヘレン中村橋」での保育の様子

12日 都市農地保全推進自治体協議会が農林水産省に要望書を提出

前川会長（練馬区長）は、濱村進農林水産大臣政務官を訪問し、6月に「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」が制定されたことなど、様々な制度改正について感謝を伝えるとともに、財政面での支援等について要望した。

19日 「農の活きるまちねりま」が、第38回緑の都市賞（緑のまちづくり部門）国土交通大臣賞を受賞

「農の学校」や「農業体験農園」など様々な取組みが、都市ならではの農地を活かした区のまちづくりとして評価された。

23日 世界都市農業サミットイベントを開催 **写真⑮**

11月23日から25日に、都市農業の魅力と可能性を世界に発信する「世界都市農業サミット」を1年後に控え、機運を高めるためニューヨークとロンドンから行政関係者・研究者を招へいし、イベントを区民・産業プラザなどで開催した。

12月

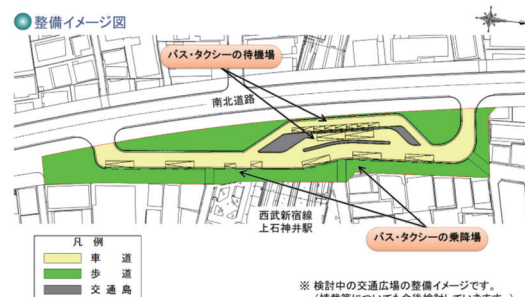
25日 上石神井駅の交通広場整備に着手 **写真⑯**

東京都が同日付けで着手した南北道路の事業と連携して、バスやタクシーへの乗換え時の安全性や利便性の向上を図るため、上石神井駅の交通広場整備に着手した。



↑ ⑮ ねりマルシェを見学する様子とロゴマーク

交通広場の概要



↑ ⑯ 上石神井駅交通広場の整備イメージ図

31年1月

10日 都市農地保全推進自治体協議会が国土交通大臣に要望書を提出

前川会長（練馬区長）は、石井啓一国土交通大臣を訪問し、「生産緑地法」や同法施行規則の改正といった制度改正について感謝を伝えるとともに、財政面での支援等について要望した。

18日 東京の民生委員制度 100周年記念式典・イベントを開催 写真⑰

区と練馬区民生児童委員協議会は、練馬区立練馬文化センターで、東京の民生委員制度創設 100周年にあわせた記念式典とイベントを開催した。

26日 東京外かく環状道路（関越～東名）シールドマシン発進式が開催 写真⑱

練馬区大泉町の大泉ジャンクション予定地で、本線トンネルを掘進するシールドマシンの発進式が開催された。

31日 「練馬区 これからの町会・自治会運営のヒント集」を発行 写真⑲

町会や自治会の有志で構成される練馬区町会・自治会のあり方検討会議は、23区では初の試みとなる町会・自治会自身が主体的に活動の事例をまとめた冊子「練馬区 これからの町会・自治会運営のヒント集」を発行した。



↑ ⑰ 民生委員制度 100周年記念の様子



↑ ⑱ シールドマシン発進式の様子

2月

東京あおば農業協同組合と共同で実施した農地所有者に対する意向調査で、約8割の農業者が農地面積の維持を希望

調査の結果、8割を超える農業者が特定生産緑地の指定を希望していること、また、生産緑地の貸借制度に興味を示している農業者が約2割いることが明らかになった。

14日 練馬区産業振興公社主催の「創業！ねりま塾～本気の起業塾」が、全国創業スクール選手権で、5年連続の表彰

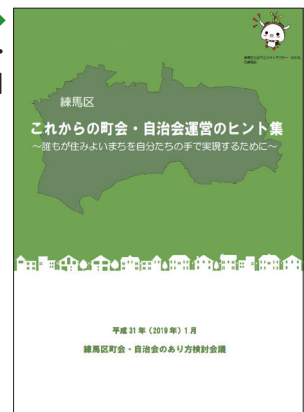
「創業！ねりま塾」は、新たに創業を予定している人等に、必要となる基礎知識やノウハウの習得、創業に向けたビジネスプランの作成を支援するセミナーで、受講生1人1人へのフォローを重視している点が高く評価された。

3月

7日 練馬ビジネスチャンス交流会を初開催 写真⑳

区内外から61の事業者が参加し、自社の商品やサービス等を紹介するグループ交流会や情報交換、商談を行うフリー交流会などを実施した。

冊子「練馬区これからの町会・自治会運営のヒント集」

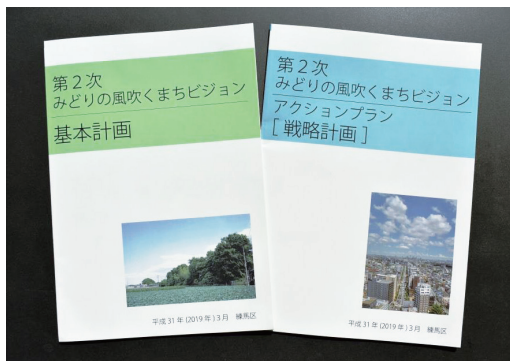


↑ ⑳ ビジネスチャンス交流会の様子

15日 『第2次みどりの風吹くまちビジョン』を策定
 写真①
 グランドデザイン構想に示す将来像の実現に向けた新たな総合計画『第2次みどりの風吹くまちビジョン』を策定した。

21日 都市農業の魅力伝えるWEBサイト「TOKYO
 とれたて♥キッチン in 練馬」を公開 写真②
 練馬産野菜を使用したレシピ動画に加え、練馬区の都市農業の特色や農産物直売所の情報を見ることができるWEBサイト「TOKYO とれたて♥キッチン in 練馬」を公開した。

26日 災害時に病院から避難拠点（医療救護所）へ電力を供給するための「地域コジェネレーションシステム整備に関する協定」を締結
 災害時に、避難拠点（医療救護所）である石神井東中学校が停電した際に、順天堂大学医学部附属練馬病院（災害拠点病院）から石神井東中学校体育館へ電力を供給することについて、協定を締結した。



↑ ① 『第2次みどりの風吹くまちビジョン』
 「基本計画」と「戦略計画」



↑ ② 「TOKYO とれたて♥キッチン in 練馬」
 ロゴマーク